

## 新たな舵を切る大妻中野



校長 宮澤 雅子

春は自然の生命の躍動感と希望に溢れた季節です。学校も4月からは新たな年度になり、その年の目標達成を目指して一步を踏み出します。先月の3月15日には、高校3年生241名がこの学舎を、未来の夢に向かって巣立っていきました。卒業式では、6年間立派に中学・高校の学びを成し遂げ、担任の先生の呼名に応え、自信と誇らしさに胸を張って証書を受け取っていました。その姿は、見守っていた会場の全ての人々に感動をもたらしてくれました。とりわけ、これまで、どんな時も深い愛情で寄り添つてきた保護者の皆様にとりましては、喜びと同時に安堵の思いで一杯だったことと思います。卒業生は皆、この大妻中野で磨いた「人間力」と自分を律する心である「恥を知れ」の教えの財産をエネルギーとして、更なる力を發揮してくれることと信じています。

4月9日には、新たな大妻中野の歴史を重ねていく新入生を迎えることと、学校の生命が活

発に動き始めます。教育の使命はどんなに時代が変わっても、常に基盤となる普遍的な全人教育の面と、時代と共に新しい力が求められる育成の両面が必要です。機会のあるごとにお伝えしているように、これから未来に生きる子供達にとって必要な力はやはり「グローバル力」であることはまちがいありません。本校を卒業した後、10年後、20年後に社会人として、社会の中心となって自立できる道を、自らの手で確実につかめるように、大妻中野もこの4月から「グローバル教育」に大きく舵をきります。

具体的には、世界の問題の影響がすぐ隣にある時代にとって、先ず世界で起きていく課題に関して理解し、今置かれている自分の国で、どのような志を持ち、それをどのように実現していくべきかを考える講演会を年間を通して全校的に実施致します。その志を土台として、実際に将来社会で堂々と自立した人生を築けるスキルを、語学も含め磨いていく学びの時間を設けます。カリキュラムや受講の方法等についての詳細は、後日お知らせ致します。

最後に、父母後援会の皆様には、この平成26年度も本校の教育活動に熱心なご協力をいただきまして、教職員一同心より感謝申し上げます。大妻中野で育った生徒達が、生き生きと自分の幸福の確立を果たし、同時に社会貢献も果たせるような人材に育っていくよう、これからもお力添え宜しくお願い致します。

